

常任委員会視察報告書

<p>委員会名</p>	<p>市民環境常任委員会 (志田委員長、児玉副委員長、出田委員、くり林委員、竹田委員、日向委員)</p>
<p>視察先 調査事項 など</p>	<p>1 アフターコロナにおける札幌市の観光商工振興策について (北海道札幌市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月9日(木) 14時30分～15時30分 ・説明者：経済観光局 観光・MICE推進部、経営支援・雇用労働担当部、産業振興部 <p>2 新規大規模集客施設に関連する観光商工振興について(北海道北広島市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月10日(金) 10時30分～12時00分 ・説明者：経済部 ボールパーク連携推進室
<p>視察先 概況</p>	<p>1 札幌市の概況 札幌市は、北海道の道央地方に位置し、政令指定都市として10の行政区が置かれています。大正11年8月1日に、それまでの札幌区から市制施行により札幌市が誕生し、令和4年には市制100周年を迎えました。 北海道の行政・経済・文化の中心地として、総面積1,121.26平方キロメートル、道内で最多の人口196万9004人を擁しています。(令和5年4月1日現在) 今回の視察では、「アフターコロナにおける札幌市の観光商工振興策」をテーマに、インバウンドの誘致や中小企業の事業承継、支援など、様々な視点から視察を行いました。</p> <p>2 北広島市の概況 北広島市は、石狩平野のほぼ中央に位置しており、西側が札幌市と接しています。明治時代に広島県から移住した人たちによって開拓されたことにちなんだ名前を持つ広島町が、平成8年9月1日に市制施行により北広島市となりました。総面積は119.05平方キロメートルであり、標高100メートル前後の丘陵が各所にある起伏に富んだ地形となっています。 人口は、令和5年3月末現在で57,166人であり、平成20年を境に減少傾向が続いています 平成30年には、プロ野球チームである北海道日本ハムファイターズの誘致に成功し注目を集めました。 今回の視察では、「新規大規模集客施設に関連する観光商工振興について」をテーマに、ボールパーク建設による観光・来訪客の増加が見込まれる中、どのように既存の観光商工振興施策との連携を図っていくかなどについて視察を行いました。</p>

志田一宏
委員長
所感

1 アフターコロナにおける札幌市の観光商工振興策について（札幌市）

11月9日（木）札幌市役所にて、札幌市の概要、札幌市中小企業振興条例、札幌市事業承継マッチング、札幌市内宿泊施設受入環境整備補助事業、観光による市内経済効果をどのように調査しているのか、札幌に企業が進出する際の補助金を含むサポート体制等について視察した。札幌市では、令和12年（2030年）頃までに大規模な再開発が続々と計画されており、50年に一度の「ダイサッシン」を好機ととらえ、札幌市に進出する企業を全力でサポートしている。中小企業振興条例に基づき、鎌倉市の企業立地等促進条例のような補助金を設けている。既に民間による再開発が進行しており、オフィスビル等に空きがないよう官民が協力して企業進出のサポートに取り組んでいると感じた。

そんな中、後継者不足で事業承継できない事例は全国にあるが、札幌市事業承継マッチング支援事業の取り組み成果を伺った。令和2年3月の立ち上げ以来、4件のマッチングに成功し、事業を廃業することなく承継することができたと伺った。簡単そうで難しいのが事業承継である。私たちが視察した11月というのは札幌を訪れる人が減ってくる季節だそうで、札幌を視察先に選んだことに喜んでいて。現在、インバウンドの回復に向けて、宿泊事業者が行う多様な観光客の受入環境の整備にかかる経費の補助事業についても説明を受けた。その観光の経済効果について、令和4年度札幌市観光イベント経済効果調査報告書を元に説明を受けた。北海道を支える札幌という自覚を持って職務に精励されていると感心した。

2 新規大規模集客施設に関連する観光商工振興について（北広島市）

11月10日（金）北広島市役所及び、北海道ボールパークFビレッジを視察した。この日は朝から雨であったが、11月の北海道は晴れが多く雨はめずらしいとのことである。北広島市役所に向かうためにJR北広島駅に降りたが、駅舎が増設され、駅前エリアで複合交流施設（商業施設やホテル等）が建設されていた。市役所に到着すると「北で広がる夢がある」とのキャッチフレーズ。何とも想いの詰まった素敵なキャッチフレーズが出迎えてくれた。1階で議会事務局から北広島市の概要を教えて頂き、視察項目の説明場所では、北広島市議会の坂本覚副議長から歓迎の言葉と、昨年、鎌倉市で行政視察した道路損傷等通報システムの北広島市での取り組みについての報告を頂いた。北海道ボールパークFビレッジは、長年手つかずであった市有地と、日本ハムファイターズが新球場を探していたことが結びついた北広島市のまちづくりのドラマである。人口減少、少子高齢化での持続的なまちづくりは、駅の近くにコンパクトで進化したテクノロジーと融合したまちづくり（再開発）をして行くしかない。そこに、プロ球団の新球場ということで、行政の命運をかけた日々を伺った。もちろん、行政用地なので、防災機能も整備されている。北海道ボールパークFビレッジができたことで、新駅の設置も決まっている。新たにJR北広島駅西口周辺エリア活性化整備計画や広域連携を確立し、北広島市の勢いを感じるとともに、行政が一丸となって北海道のため、北広島のために自分の役割を必死に果たそうとしていると感じた。

<p>見玉文彦 副委員長 所感</p>	<p><u>1 アフターコロナにおける札幌市の観光商工振興策について（札幌市）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「大刷新」を札幌市のスローガンに掲げ、全庁あげて市活性化に取り組んでいる。 ◆外国人観光客に対する観光政策として、①デジタル発信（WEB、SNS）の更なる強化、②A T W S 2023 北海道の開催の好機を活かしたプロモーション、③都市型スノーリゾートのブランド化と欧米豪での認知度UPに向けたプロモーション、④継続的なアジア圏への誘致プロモーション、の4点を具体的ビジョン・柱として取り組んでいる。 <p>特に上記①ではインフルエンサーを起用した動画で宣伝効果UPを図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆インバウンド回復に向け、宿泊事業者が多様な観光客受け入れのため行う各種整備にかかる経費の補助を実施する「札幌市内宿泊施設受入れ環境整備補助事業」を設置。（1施設あたり補助率1/2、上限額30万円） ◆昭和50年に制定した「札幌市中小企業振興条例」を平成20年に改正し、持続的に中小企業振興のための施策を行っている。 ◆アフターコロナ、インバウンド対策の為、市として観光関連予算の拡充を進めている。 <p>【所感】</p> <p>上記のとおり、札幌市は明確なスローガン（方向性）とビジョンを掲げ、予算拡充し取り組んでいる点は鎌倉市も大いに見習う点。今後の鎌倉市の観光商工施策に取り入れ活かすよう取り組んでいきたい。</p>
	<p><u>2 新規大規模集客施設に関する観光商工振興について（北海道北広島市）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「Fビレッジ構想」として2015年から日本ハムファイターズと北広島市との官民連携による事業がスタート。 ◆2023年から2042年までPhase1～5に区切り、エスコンフィールドを中心とした、スポーツ・商業（飲食、天然温泉・宿泊）・教育・子育て・医療・福祉・居住・防災機能・新JR駅といった、新たなまちを作る大胆なプロジェクト。いわゆる単なる箱物ではなく、運営側も市民もワクワクするような、これまで日本ではなかった発想・開発事業。 ◆企業誘致や新たな転入者増により、少子高齢化により現在約57,000人まで減少した人口を60,000人までの増を目指す。 ◆広域連携により、同市だけでなく北海道全体の活性化を図る。 →「北海道のシンボル」を目指す。 ◆特に民間企業（ファイターズ）側の活力・アイデアに依るところが多く、「ある程度任せよう」としたことが良かった。 ◆当初は市民含め誰もが夢物語と思っていた。実際これまで様々困難があったが、首長・市職員・ファイターズが夢・構想に向けブレずに信念と情熱で取り組み、乗り越えてきた。市民から何か聞かれればすぐに飛んでいき会って話す姿勢を貫いてきた。

【所感】

同市スローガン「The Ambitious City 北広島市～大志をいだくまち～」の通り、行政（首長・職員）、市議会、ファイターズが僅か6～7年でこれだけの大事業を推進したことは素晴らしい。積年の諸課題が多い鎌倉市も見習い、参考にして実行すべき点多し。そしてその根幹はやはり当事者のブレないビジョンと情熱であることを痛感。その点を改めて鎌倉市へ訴えていきたい。

出田正道
委員 所感

1 アフターコロナにおける札幌市の観光商工振興策について（札幌市）

(1)観光客の受け入れ整備にかかる経費の補助

補助率2分の1、上限30万円 外国人観光客の増加に特化

① 多言語対応

- ・多言語での広報物等の作成
- ・多言語音声翻訳システム機器の購入

② 多様な文化等への対応

- ・食習慣に対応するためのメニュー作成
- ・ハラル認証等の取得

③ 環境配慮への対応

- ・性能の優れた省エネ設備への更新ほか

④ 緊急時対応

- ・災害時に多言語で情報発信するための機材ほか

(2)事業承継マッチング支援事業

後継者がいない解決策の一つとして、中小企業の事業承継ニーズが高まっている。

規模の大きい案件を扱う機関は多く、行政の支援は必要ない。

支援の手が十分に行き届かない小規模・零細事業者への支援の充実を図ろうとするものである。

中小企業経営者に事前アンケートを行い、各経営者の事業承継に対する考えを把握した上で承継マッチングを行なっている。成功事例4件

2 新規大規模集客施設に関連する観光商工振興について（北広島市）

きたひろしま総合運動公園予定地への新大型野球場建設およびプロ野球球団「日本ハムファイターズ」の誘致成功により、観光客増加と人口増加を目的としたまちづくりを行おうとしている自治体である。

球場周辺をボールパークエリアと呼び、エンターテイメントやアクティビティをはじめとする充実の施設が揃った一つの街のような空間を目指す。その中には、農業学習施設、認定保育園/病児保育、シニアレジデンス(高齢者施設)もあり、子供から大人まであらゆる世代の人々が集い交流する空間・コミュニティ育成の場の整備を実現させようとしている。

将来は、JR新駅の整備と北海道医療大学の移転も予定されている。

ボールパークの整備と並行して、JR北広島駅西口周辺エリア活性化整備計画として「キタヒロ・ホームタウン-BASE」も進行している。

計画通りに整備が進むことで、素晴らしい街がつくられることになろう。

つくった後は維持管理である。20年後、30年後を想定した行政施策も必要であろうと考える。

	<p>1 <u>アフターコロナにおける札幌市の観光商工振興策について（札幌市）</u></p> <p>「大札新」の掛け声のもと、2030 年度末の北海道新幹線開業に向けた施策が際立っていた。</p> <p>「事業承継」や「法人の新規設立支援」など、企業を元気にする事で札幌という街全体を盛り上げようという意識が強く感じられた。</p> <p>支援が手厚いだけでなく、「事業承継マッチング支援」では行政が街の事業承継をサポートするというアイデアに多くの学びがあった。</p> <p>街に企業の本社が集まることには、とにかくメリットが多い。</p> <p>鎌倉市も例外ではなく、街づくりの中心的な核となる視点になりうる。</p>
<p>くり林こうこう 委員 所感</p>	<p>2 <u>新規大規模集客施設に関連する観光商工振興について（北広島市）</u></p> <p>「エスコンフィールド」の実物を見るまで、この施設の街に対するインパクトが分らなかったが、現地に赴き、その存在感と影響力に驚いた。</p> <p>街にとっての力強いシンボルであるだけでなく、経済、居住、コミュニティ、文化芸術と、幅広いジャンルの基盤となりつつあるこの大規模集客施設は、行政の覚悟と民間の実行力が組み合わさってできている。</p> <p>鎌倉市も新しい街づくりの歩みを踏み出そうとしている。</p> <p>北広島市における一連の動きは、大いに参照すべき学びの宝庫であると確信している。</p>

竹田ゆかり
委員 所感

1 アフターコロナにおける札幌市の観光商工振興策について（札幌市）

① 外国人観光客に対する情報発信について

欧米豪の人々にとって札幌市はあまり知られていないとの認識のもと、外国人向けの動画を作成し、アドベンチャートラベル（カヌー体験・アイヌ民族文化の体験など）を通して、滞在時間を長くする取り組みが行われている。また、都市型スノーリゾートのブランド化と発信により道外やアジアからの来客数が増えている。多言語案内板の設置数 163。サイネージ 6 か所。タッチパネル式で観光案内のみならず、災害時の情報発信も行われているとのこと。鎌倉市においてはぜひ導入すべきものとする。

② 企業誘致の取り組みについて

市内の若者には、地元就職志向が強い。しかし希望者数就職できていない現実がある。地震も数なく台風も少ない。スギ花粉もない。住みやすいまちである。BCP拠点として本社の移転が多数ある。立地企業数 110 社。鎌倉のおもしろカヤックも進出している。条例に基づく企業立地補助金が出され、税の軽減もある。

③ 「中小企業振興基本条例」があることによる効果について

条例があることで、産業振興ビジョンに数値目標が掲げられており、市の上位計画が反映されるため、審議会での議論を経て予算化がなされる。審議会では経済効果を把握している。鎌倉市には「中小企業振興基本条例」がない。商工業振興計画があり推進委員会はあるものの、予算確保と紐づいていない。今後、鎌倉市においても、事業者の声や、働く方々の声が反映できよう、条例制定が行われることが望ましいと考える。

2 新規大規模集客施設に関連する観光商工振興について（北広島市）

ボールパーク連絡推進室長より、事前に提出した調査事項を織り込みながらの説明を頂くことができた。

① ボールパークFビレッジ「新たなまちづくり」のこれまでの経過について

規模こそ異なるが、鎌倉市第3の拠点づくりにあたって学ぶものが大いにあった。ファイターズとの意見交換開始（2015年）から3年後にボールパーク候補地として内定、決定。その2年後に着工、3年後（2023年）に竣工。共通の目標を持ちつつ、すり合わせがうまく進まない中でも「町として望む姿」をぶらすことなく進めていくことができたのは、「市長のぶれない信念」があったからとの説明。市民への説明41回の末、共感を得ることができたようだ。ボールパークFビレッジには、温泉施設・ホテル付き球場・シニアレジデンス・メディカルモール・農業学習施設・室内外遊び場・宿泊施設・認定こども園・アドベンチャーパーク等々が設置・予定されている。今後JR新駅も整備される予定。説明の最後に流されたプロモーションの効果は大きい。

② 特色ある教育環境の提供について

農業学習施設で、子どもたちは農業について様々な形で学ぶことができる。未来型農業について等々。ファイターズの職員が来校して年に1回授業を行う。キッズプレイフィールドの設置により野球の体験ができる。

現在、北広島市の転入人口は増えているが、自然減により総人口は減少している。しかし、税収は増えている。まちづくりは、「市民の暮らしに何をもちたらずのか」しっかりと、見える形で示すことが重要であることを学んだ。事業者と一緒にアイデアを出し、必死に取り組む熱量が高かった。

	<p><u>1 アフターコロナにおける札幌市の観光商工振興策について（札幌市）</u></p> <p>札幌市では2030年ごろまでに大規模な再開発が続々と計画され『大札新(ダイサッシン)』というスローガンを掲げ、官民一体となって企業誘致に取り組まれている。自然災害の被害が少なく首都圏などとの同時被害のリスクが低いことなどで、本社機能を札幌に移す企業があることもあり、ビジネスを支えるまちとしてのアピールを行っている。また、北海道内で就職をする市内学生が多い（理系：46%、文系：71.6%）が実際には希望がかなえられていない人が多数いるとの調査もあり、豊富な人材が地元で働けるためにもサポートをしっかりと取り組んでいる。</p> <p>一方、観光都市として外国人観光客への環境整備については、インバウンド回復に向けて、市内宿泊施設へ受入環境にかかる経費の補助を実施している。また、魅力の発信については、インフルエンサーに依頼をしてSNSを活用して観光や商工業をアピールすることで、紙媒体やホームページだけでなく、より多くの方々に情報を届ける工夫を行っている。訪れる前にどういった場所なのかSNSの投稿をチェックする人も多いため、観光プランの参考となるようなリアルタイムの情報発信と、動画を制作した方法など、学ぶことが多い視察となった。鎌倉市としても分散化の取り組みの中に、各地域の魅力発信していく仕掛けをしていかなければならないと感じた。</p>
日向慎吾 委員 所感	<p><u>2 新規大規模集客施設に関連する観光商工振興について（北広島市）</u></p> <p>北海道ボールパークFビレッジの建設に向けて、約32ヘクタールの予定地に誘致することを決めて活動をスタートされた。誘致を決めてから内定をいただくまで、必ず誘致するという強い想いを貫けたことが大きかったという印象を受けた。これまでの日本の野球場というイメージと全く異なった施設を構想し、エンターテインメントなど充実した施設が揃った空間であり、野球の試合がなくても賑わいのある場所となっている。</p> <p>今後は交通アクセスを充実させていく計画であり、新駅や新設アクセス道路の整備を行い、スタジアム来場者の分散化と利便性の向上が図られる。施設ができる前にアクセス面をすべて整えるのではなく、まずは誘致を優先させ野球場をランドマークとして、周辺が賑わっていく形となっている。エリアが活性化され整備されていくと、さらに魅力的となり、その様子を見るためにまた訪れてみたいと思う。</p> <p>他に特徴的だったのは、球場内が完全キャッシュレス化を導入されている点であった。導入時には反対の声があったものの、導入後には評判が良いとのこと、スマホひとつで、球場内を身軽に楽しめることができ、とても素晴らしい取り組みであると感じた。新しい施設が整備されたことで、その場所が地域のシンボルとなり、まちづくり計画に反映され、北広島市のブランド価値が向上する、大プロジェクトを実際に行った担当の方とお話できたことが、良い経験と学びにつながった。</p>